



(2021~2022年度 国際ロータリー・テーマ)



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



「梅香る弘道館」(水戸市)

## 水戸ホーリーホック

沼田 邦郎 (製造専門家)

水戸ホーリーホックのお話をさせていただきます。

私は、水戸ホーリーホックに社長就任した当初より「育成」に力を注いできました。アカデミーの選手はもちろんのこと、トップ選手、フロントスタッフまですべてです。特に選手は、スポーツ界で限られたコミュニティの中で、社会性や一般教養が身に付きにくいという点があります。そこで3年前、水戸ホーリーホックでは「人が育ち、クラブが育ち、街が育つ」というクラブ理念を具現化した独自の選手教育プログラム「Make Value Project」を立ち上げました。週1回、90分間、講義を展開しております。このプログラムは「多様性と交流」をキーワードに、異業種で活躍する方々(会社の経営者、金融機関、医療関係者、元アスリート、大学教授など)のお話を聞き、「価値観」や「使命感」に触れる機会をつくり、サッカー選手としての職業価値や地域社会における存在価値に対する気付きを促すためのものです。

このプログラムを通して、選手個人の意識からアスリートとビジネスパーソンの垣根を取り払い、まとめとして選手自身のプロサッカー選手としての理念「ミッション、ビジョン、バリュー」を策

定しております。

水戸ホーリーホックでは、選手たちが「自分で自分を経営する経営者」としての視点を獲得するための場の提供をしています。

また同時にパートナー企業様のご協力を得て、研修や合同セミナー、インターン活動なども行っており、選手引退後の社会勉強も同時に行っております。

Jリーグチーム57クラブありますが、この活動は、唯一水戸ホーリーホックだけです。J2の中でも予算規模が最も少ないクラブが、どのようにして強いチームをつくるか?これが、水戸ホーリーホックです。

この改革は、まさに一般企業にも、組織にも当てはまるのではないかと思います。企業理念をしっかりと掲げていても、全社員意識もせずに働いている。「何のために、誰のために」を見失っていることが多いのではないかと感じております。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、社会は完全にリセットされました。

今、まさに変革の時。チャンス到来と捉え、前に進んでいきたいと思っております。

今後とも、よろしくお願いいたします。

No. 7 2021・9・7

1951年3月6日設立  
1951年3月15日RI認証

水戸ロータリークラブ

■例会日  
毎週火曜日・12時30分  
常陽銀行本店8階

■事務所

■会長 岡崎恵一郎 ■幹事 白田 礼治

〒310-0021 水戸市南町2丁目5番5号 常陽銀行本店 別館5階  
TEL.029(231)2151(代表) 直通(225)4820 FAX.029(225)4825  
E-mail r.i.mito@sage.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.mito-rc.jp/>



中世から近世にかけて日中交流が最も盛んだった時期は唐宋時代だと言われています。聖地巡礼や留学する僧侶たちは文化交流の使者でした。日中交流においては、隋唐時代は主に政府派遣の遣隋使・遣唐使によって行われました。しかし、唐が滅亡し遣唐使が廃止されて以降、日中は民間の交流が中心になっています。中原では戦争が頻繁に起こるため、日中の民間交流は主に当時首都杭州の呉越国で行われています（小島2005）。その長江中下流における日中民間交流は、再び中原を統一する宋の時代まで続いています。そこで、今日は、宋代経済と文化のセンターである浙江の文化に注目し、後世日本文化へ与えた影響を話させていただきます。

宋王朝は北宋（960 - 1127）と南宋（1127 - 1279）に分けられ、合計319年です。日本の同時期は平安時代の後半と鎌倉時代の前半です。北宋の首都は開封で、南宋の首都は杭州でした。唐と比べて、宋は軍事力が弱いですが、経済や文化の繁栄で唐を超え、海のシルクロードによる海外貿易も繁盛しています。日中交流は主に仏教を通したものです。唐に発展の基礎を築いた禅の思想が開花するのは宋です（小島2005）。宋は経済・生活の面の向上に伴い、人間自身の内面「心」の問題が浮上しており、禅は「不立文字、以心伝心」を目標としました。南宋時代に、政府が特別な保護を与え管理するために禅宗寺院で最高の寺格を示す五山制度が設けられました。南宋五山は、杭州の径山興聖万寿禅寺・北山景德靈隠禅寺・南山浄慈報恩光孝禅寺と、寧波の太白山天童景德禅寺・阿育王山広利禅寺です。日本では鎌倉時代後期から、建長寺をはじめ禅寺の建立が相継ぎ、南宋五山の制度に倣って、鎌倉五山と京都五山を命じました。小島（2005）に指摘されたように、鎌倉には京都や奈良の既存の仏教文化とは異質な、独特な禅文化が開花し、鎌倉五山では当時浙江の口語が用

いられており、そこは唐宋変革以降の中国文化を直輸入した異空間でした。

宋代にお茶を飲む習慣が流行っているのは、座禅中に睡魔と戦う為だからです。日本にお茶を導入したのは、仏教の僧侶たちです。日本の茶祖として有名な栄西は、寧波の南に位置する天台山万年寺や天童山景德禅寺で修行していたし、静岡にお茶をもたらした円爾は、杭州郊外の径山万寿寺や寧波の天童山で修行していました（山口2013）。特に栄西は二回入宋し、『喫茶養生記』を書き、宋に流行っている健康法として日本にお茶を飲むことを推奨しました（小島2005）。宋代に日本に伝わった緑茶飲用の形態は葉茶を粉末にして、全体を湯に溶いて利用する抹茶です（山口2013）。その後には伝わった煎茶（中国では泡茶）とともに、日本の緑茶利用文化の基盤を形成しています（山口2013）。日本の僧侶たちが帰国するときには持ち帰っていた食材・食品加工の技術は、お茶以外に、豆腐・納豆・味噌・饅頭などがあります（山口2013）。宋王朝が滅亡した以降、元軍（モンゴル）の侵入より宋文化がたくさん失われましたが、抹茶の文化はその後に日本だけに残され、茶文化研究には貴重な遺産になりました。

日宋貿易で主に使ったのは寧波港で、日本側は博多港です。つまり、寧波港は文化輸出の港になりました。寧波からは、典籍・地図・彫刻・文人画・陶磁器、および宋の朱子学・明の陽明学などが日本まで伝わってきました。また、奈良東大寺の石獅子・石灯籠は南宋寧波出身の宋人石工によって作られ、石材まで寧波から輸入されたという記載が残っています（山川2013）。

明代に入ると、海禁政策があり日明貿易が勘合貿易や倭寇を経由する形になったため（上田2005）、日宋貿易のような繁栄した時代は二度と戻りませんでした。一方、文化は片方の輸出ばかりではありません。日本の明治維新以降、日本は中国の古典語・漢字を利用し、欧米の書籍を大量に意識し、現代の意味を持つ漢字訳語を中国へ逆輸入しました（王2005）。

最後、皆さんにお伝えしたいのは、参考文献の書籍は日本に来てから読んだ本です。留学と

というのは、日本をさらに知ることができるということだけではなく、自分の母国—中国をさらに知ることができるということも大切な体験です。私は日中交流史を皆さんに伝える懸け橋になりたいです。以上をもちまして、日中交流最盛期の宋代をみなさんにお伝えしました。ありがとうございました。

#### 参考文献

- 上田信 (2005) : 『海と帝国：明清時代』 講談社。  
王勇 (2005) : 「中国史の中の日本」 礪波護・尾形勇・鶴間和幸・上田信編 『日本にとって中国とは何か』 講談社。  
小島毅 (2005) : 『中国思想と宗教の奔流：宋朝』 講談社。  
山川均 (2013) : 「寧波の石造文化と日本への影響」 高津孝編・小島毅監修 『くらしがつなぐ寧波と日本』 東京大学出版会。  
山口聰 (2013) : 「お茶のふるさとを求めて—民族植物学者浙江の旅」 高津孝編・小島毅監修 『くらしがつなぐ寧波と日本』 東京大学出版会。

---

## 例会報告

9月第1例会（オンライン）

司会 川崎(隆)委員長

---

### ◇ ゲスト紹介

米山奨学生 趙 文琪 さん  
新会員候補者 安 隆之 氏

### ◇ 1分間スピーチ

「弊社と自身の近況報告」 大崎 則彦 会員  
「弊社オリ・パラ参加社員の結果報告と  
悪質詐欺への注意」 岡本 圭司 会員

### ◇ 会長の時間

岡崎会長

9月になりました。ロータリーでは9月は「基本的教育と識字率向上月間・ロータリーの友月間」です。基本的教育と識字率向上について、日本に住んでいるとこのようなテーマが必要なのかと思ってしまうがちですが、世界中を見るとまだまだ達成されていません。世界中のロータリークラブが取り組んでいます。新たに事業を立ち上げようとするとハードルの高い分野ではあります。

次に、ロータリーの友について、荻原委員長には友のお供新聞を発行いただき、白田幹事から配信いただきました。プログラムには「ロータリーの友」を皆様に発送予定とありますが、各自 Web 上でも閲覧可能です。ぜひ、Web 上で閲覧してみてください。

週報についても Web 例会期間中も発行されています。長野会報委員長ありがとうございます。こちらは水戸ロータリークラブホームページにてご確認ください。

さて、米山月間は来月ですが、オンラインで対応できるとの理由で、本日の卓話は米山奨学

生 趙 文琪さんをお願いしております。趙さん  
よろしく願いいたします。

そこで米山月間にちなんで、4年前、私が米山奨学委員長を務めました時の卓話について紹介いたします。「元米山奨学生 宮川健治先生を訪ねて」というタイトルでした。クラブ現況報告書の米山奨学生のページをめくっていると、歴代4人目の奨学生欄に「帰化後宮川健治」と書いてあるのを見つけました。

米山奨学生は、帰国して時間が経過すると連絡がとれなくなってしまうことがあるようですが、帰化していれば日本にいるだろうと Web 検索してみました。すると、元米山奨学生の宮川健治さんは、茨城県つくば市でご開業の医師、そして、つくば学園RCの会員となっていました。

すぐに手紙を書き、電話で宮川先生とお話しすることができました。残念ながら、お一人で開業とのことで、例会に参加いただく事はできませんでしたが、私が9月に訪問し、ビデオメッセージを撮影、10月の例会で紹介しました。故 山田栄士郎 先生がカウンセラーで、山田先生とのお写真も宮川先生から提供いただきました。2018-2019年の週報第15号にも要約が掲載されています。

新型コロナ、新規陽性者数はピークアウトしたようにも見られます。10月の第1例会は高橋靖水戸市長の卓話予定ですので、何とか会場での例会に戻れればと思います。一方で、入院患者数・重症患者数は高止まりしております。そして、ブレイクスルー感染の報道もあります。皆様、まだまだ油断せず、お過ごしください。

## ◇ 出席報告

白田幹事

会員数	出席数	欠席数	本日の出席率
116名	70名	46名	67.96%

前週訂正出席率 91.51%

## ◇ 会員メイクアップ

9/6 北海道2500R E C 磯崎 寛也

## ◇ にこにこBOX (web)

鈴木(勝)委員長

(9 / 1扱)

奥野会員(※)…… 8月31日をもちまして、水戸駅コンコースにあります「川又書店プラムストリート店」を閉店致しました。皆様から「良く利用していたのに…」と沢山お話を頂きました。ご愛顧頂き、本当にありがとうございました。ご不便をお掛け致しますが、エクセル店を引き続きご利用頂ければ嬉しく思います。

※後日入金

本日の合計	1件	5,000円
-------	----	--------

(9 / 7扱)

岡本会員(※)……誕生祝いをいただき、ありがとうございます。50歳になりました。  
白田会員(※)……今月もよろしくお願ひします。早期のコロナ収束を願ひ。

※後日入金

本日の合計	2件	10,000円
-------	----	---------

## ◇ 幹事報告

白田幹事

1. 9月号のロータリーの友、及び月信を郵送いたします。また、9月誕生日の方には誕生祝も同封いたします。
2. RI第2820地区ガバナーエレクト事務所が開設されました。  
所在地 〒300-2635  
つくば市東光台4-5-2  
エルアール105号

TEL 029-846-2856

FAX 029-846-2857

E-mail 22-23@rid2820.jp

ガバナーエレクト 大野 治夫 (つくば学園)

地区幹事 下村 正 ( " )

地区資金委員 小林 保弘 (つくばシティ)

執務時間 10:00~16:00

(土・日・祝祭日は休業)

## ◇ 9月定例理事会報告

日時 9月7日(火) 午前11:45~12:10

場所 WEB上

- 議題
- 1) 新会員候補者審議について
  - 2) 新会員所属委員会について
  - 3) 茨城海岸美化プロジェクトについて
  - 4) 「この指とまれ」について
  - 5) 佐賀・長崎豪雨災害支援金について
  - 6) 9月・10月の例会プログラムについて
  - 7) 会計報告



週報担当 長野 久嗣 委員長

## 例 会 予 告

9月21日(火)  
一定款第7条第1節により休会

9月28日(火)  
於 ホテルテラス ザ ガーデン水戸  
卓話「B1への道のり」  
茨城ロボッツ・スポーツエンターテインメント  
代表取締役 西村 大介氏

10月5日(火) 於 水戸三の丸ホテル  
卓話「水戸市政報告  
~コロナ対策と市民会館への期待~」  
水戸市長 高橋 靖氏

…… 例会欠席の方は、4日前までに事務局までご連絡下さい。……